

栽培漁業センター生産事業 (2015年度のヤイトハタ早期採卵)

今道智也*1, 近藤 忍

本事業は、沖縄県農林水産部水産課の魚類養殖種苗要望調査に基づく養殖用ヤイトハタ種苗の配付要望数を満たすため、沖縄県水産海洋技術センター石垣支所（以下、石垣支所）においてヤイトハタの親魚養成および早期採卵を行い、沖縄県栽培漁業センター（以下、栽培センター）へ受精卵を輸送することを目的とした。

2015年の採卵に使用した親魚は、1群17尾（B群—沖縄本島産天然魚1尾、人工種苗養成魚16尾）で、250kLコンクリート製八角水槽にて養成した。餌は、主に本土産サバを給餌した他に外国産ムロアジを与え、採卵前2カ月頃からは、DHA製剤およびビタミン剤を封入した医療用カプセルを餌の腹腔内に挿入して給餌した（図1）。

早期採卵は、ボイラーによって加温した地下浸透海水による環境制御によって催熟と産卵誘発を行った。飼育水の加温は、2014年12月22日から開始し、自然海水が25℃前後となった2015年4月27日まで継続した。加温中の飼育水温は、24.0～27.3℃であった（図2）。

2015年の産卵は、2月18日から始まり、2月21日に最初の受精卵を確認した。2月の産卵は、27日までの間に計6回確認された。その後も産卵は続き、3月から7月にかけて計18回確認された。産卵期間中の水温は、25.6～29.6℃で推移した。2015年の栽培センターへの受精卵の輸送は、2月21日から5月19日にかけて7回行い、輸送した受精卵の総重量は、5,935gであった（表1）。

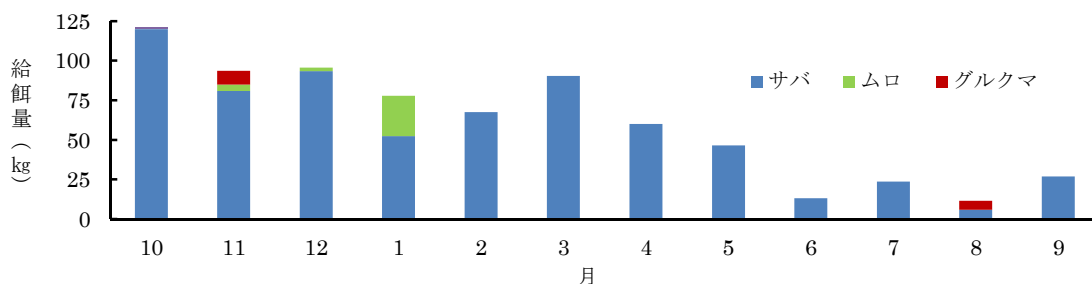


図1 ヤイトハタ親魚の月間給餌量

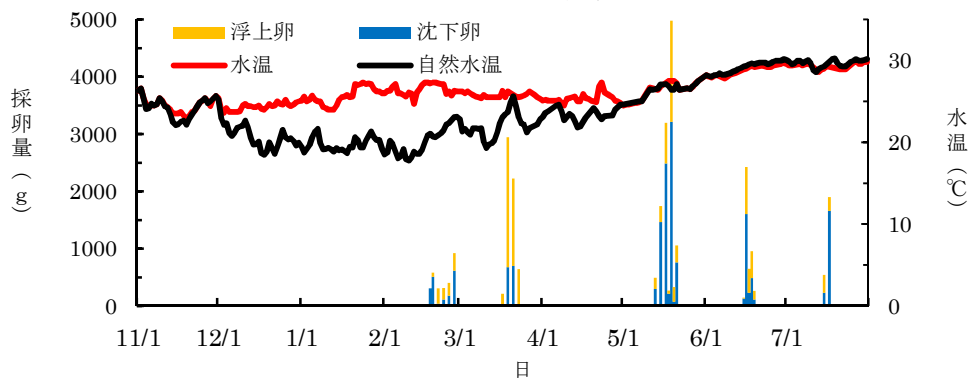


図2 ヤイトハタ親魚の飼育水温および採卵量

表1 ヤイトハタの産卵および栽培センターへの輸送状況

月	平均水温 (℃)	親魚数		産卵回数	採卵量 (g)			平均 浮上卵率 (%)	浮上卵胚発生率 (%)		卵径 (mm)		栽培センターへの 卵輸送状況 (g)
		雄	雌		浮上卵	沈下卵	総卵量		平均	範囲	平均	範囲	
2	26.4	1	16	6	1074	1765	2839	37.8	33.3	0～91.5	0.89	0.84～0.96	739
3	25.8	1	16	4	4608	1419	6027	76.5	53.6	8.1～100	0.90	0.86～0.96	4428
5	26.1	1	16	7	3560	8510	12070	29.5	95.2	80.0～100	0.87	0.81～0.95	768
6	28.8	1	16	5	1880	2560	4440	42.3	65.9	0～100	0.87	0.81～0.92	
7	29.4	1	16	2	550	1890	2440	22.5	84.5	69.9～99.0	0.86	0.79～0.91	

*1 E-mail : immichit@pref.okinawa.lg.jp , 現所属 : 沖縄県農林水産部水産課